

自分たちの力で川根本町の 魅力を世界へ発信

中川根南部小学校6年生の皆さん



「自分たちが住む町をずっと未来に残したい」と真剣な表情で口をそろえるのは、中川根南部小学校6年生の皆さん。川根本町の人口減少の課題を解消するために、町の魅力紹介動画を制作しました。

動画制作のきっかけは、5年生の頃の総合的な学習の時間で、どうすれば川根本町に人を呼び込めるのかを考えたこと。児童らは、町には整備された道路や住居、魅力的な仕事ももっと必要だと結論づけましたが、どれも簡単に解決できないことばかりでした。そこで「私たちにできることは何か」を時間をかけて考え、たどり着いた答えが、普段授業で活用しているタブレット端末で、町の魅力紹介動画を作ることでした。

動画の随所に見られる児童らの工夫。観光地や特産品の紹介には、児童の体験談を交えながら楽しく表現されたナレーションやテロップが付けられ、また海外の視聴者を意識した英語版も制作されました。『思い』を翻訳するのが難しかったと話す湯口蒼祐さん(地名区)は「世界中の人に川根本町の魅力を知ってほしい。SNSで紹介すれば、たくさんの人に知ってもらえるはず」と期待を込めます。

動画制作を振り返り大下珠空さん(下長尾区)は「小さな町でもたくさん魅力があることに気が付いた。動画をきっかけに川根本町に来た人が、この町で忘れられない体験をしてほしい」と話し、坂本心優さん(久野脇区)は「動画が川根本町が抱える課題解消に少しでもつなげれば良い。この町がもっとにぎわうように私たちにできることを続けていきたい」と語りました。動画は近日中に【川根本町公式ユーチューブチャンネル】で公開されますのでご覧ください。そしてお友だちや知り合いにぜひ紹介してみてください。

編集 幸記

「はたちの集い(旧成人式)」の取材をしました。私は4年前、自分の成人式を欠席したため、会場の雰囲気がとても新鮮でした。二十歳を迎えられた皆さんがスーツや着物姿で華やかに、友人や恩師と談笑する姿を羨ましく思いました。今後は社会人として責任と自覚を持った姿勢が求められます。様々な困難にぶつかることもあるかと思いますが、さすが、乗り越えられぬことは一つもありません。夢と目標を掲げ自分の信念を貫いてください。

鈴木雄大

南部小学校6年生の児童たちが制作した町PR動画。外国人の反応を知りたいとゾーホージャパン株式会社川根本町オフィスに勤めるインド人社員にプレゼンテーションに行ったそうです。その行動力にただ驚くばかり。それほど児童たちの目にも川根本町の人口減少が深刻に映っているのだと感じます。「私たちにできることで町に人を呼び込みたい」と話す児童たちの真剣な表情を、私は忘れません。

梶山 拓郎